

# 三同教だよ

No.17  
2021(令和3)年10月



三木市人権・同和教育協議会  
三同教は、人権尊重のまちづくりを  
市民のみなさんと進めていきます。

研究大会分科会 三同教事務局企画

## 子どもの人権について考える

### ○「子どもたちの今」～子どもたちを取り巻く状況～

コロナ禍により、これまでの生活や行動が制限される一方、学校では1人1台のタブレット導入により、子どもたちはSNSやオンライン授業などネット社会とつながる機会が急速に増えました。ゲームやSNS等ネットを1日1時間以上使っている児童生徒の割合は、小学校高学年で6割以上、中学生で8割以上、高校生で9割以上と非常に高いです(兵庫県教育委員会:新型コロナウイルス感染症の影響に関する心のアンケートより)。コミュニケーションの取り方も多様になっていく中、ストレスを感じて悩みを抱え込んでしまう子もいます。ネット社会の中で育つ子どもたちが、どのような悩みや思いをもって日々過ごしているのでしょうか。

### ○中高生の思いから「子どもの人権」について考える

三同教は、子どもたちの人権が守られ、安心して学校生活を送ることができるようにこれまで活動を行ってきました。しかし、近年子どもたちの姿が、SNSなどの情報機器の発達で見えにくくなってきました。そこで、市内在学の中高生のみなさんから「子どもの人権」についての思いを聞き、子どもたちの声を反映した取組をしていきたいと考えました。

三同教研究大会分科会では、インターネットアンケートの回答をもとに意見交流をします。市民のみなさんの参加をお待ちしています。みんなでよりよく生きるためのヒントを導き出しましょう。



人権を大切に  
するってどういう  
ことなのか  
一緒に考えよう。

### ミニトピック ～心の温度～

大人がかける一言で、子どもの心の温度が上がります。  
みなさんはどのような言葉がいいと思われますか？

#### ●子どもの心の温度を上げる言葉

「あなたならできると思うよ」(信じる)  
「ありがとう」(感謝)  
「あなたのそこが大好き」(認める)  
「よくがんばったね」(ほめる)

#### ●子どもの心の温度を下げる言葉

「何回言ったらわかるの」  
「余計なことはしなくていい」  
「他の子はそんなことしないよ」

## 三同教は、新たな時代に向け挑戦します

就任あいさつ

会長 又吉健二

はじめまして。三木市人権・同和教育協議会長に就任しました又吉健二です。

まちの理想の姿は「ダイバーシティ&インクルージョン」、つまり、性別・年齢・障がい・国籍、さらには、ライフスタイルや価値観などにかかわらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かしていくことです。そのことを源とし、元気で活気あるまちを創造していきたいと思えます。

三木市区長協議会連合会長が三同教会長を兼任することの意義と重責を深く感じています。皆様と共に命を大切に、笑顔と優しさあふれる「人権のまち三木」をめざしていきます。そのためには、日常の人権意識を皆さんと共に高め合いたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

### ■研究大会分科会のあり方を変えます。

三同教の大きな活動の一つが、例年秋に学校園所・行政・自治会・企業等関係者等約 400 人が参加する研究大会です。人権をテーマに各団体・個人が実践を持ち寄り、交流を図り、より高い人権教育及び人権啓発をめざしています。近年人権意識が高まるとともに参加者の学習ニーズ等が変わってきました。そこで、それらに応えるため、発表者や参加者が主体的に活動できる「参加してよかった」と思える研究大会を構想しました。

そして、今年度から次の三つを変えます。

- ☆ 提案者の発表したい実践を基に討議します。
- ☆ 参加者の関心のある分科会に参加することができます。
- ☆ 分科会討議の形態を発表内容により変えます。

■研究大会 日時 2021年11月20日(土) 13時30分～16時

場所 三木市文化会館周辺施設

### ■分科会発表者

学校教育分野	志染保育所	志染小学校	自由が丘中学校	三同教事務局
	神和認定こども園	自由が丘東小学校	吉川中学校	
社会教育分野	自由が丘地推協	三樹小学校PTA	グリコマニュファクチャリングジャパン(株) 兵庫工場	
	別所町老人クラブ連合会	別所中学校PTA	男女共同参画センター	

### ■住民学習の進め方を変えていきます。

コロナ禍のため、従来のように大人数での住民学習はできなくなりました。しかし、この機会をとらえて新しい試みができないかと模索しています。

例えば、少人数で回数を増やしたり、啓発DVDを家庭や小集団に持ち回りをして視聴したり、テレワークを活用したりネット配信を利用したりするなど工夫しています。また、指導者においても効果的な住民学習のあり方を話し合い活かすように取り組んでいます。市民の皆様のご協力をお願いします。

**お知らせ** 本年度おすすめの人権啓発DVD

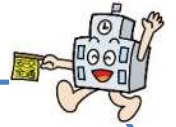
DVD[カンパニユラの夢]

内容 高齢化が進む中で起きる「ひきこもり」(8050問題)について考えます。

# さわやかに生きる人たち

三同教では、FM ラジオ放送「じんけん・こころの小窓」を活用して人権啓発に取り組んでいます。人権にかかわる事柄について、様々な方面で活躍をされている人や団体に出演していただいています。

4月～7月に出演された方々を紹介します。



5月

吉川児童館子育てサークル 松本由華さん

吉川児童館で顔を合わせた子育て中のお母さんが、年齢ごとの子育てサークルに入り情報誌を発行したり、互いの趣味を楽しむサークルを立ち上げたりして、生き生きと子育てをされています。

子どもたちはステージに立つお母さんを、目をくりくりさせ追い見つめていました。

👤「私たちが楽しくチャレンジする姿を見せることで、子どもにより影響を与え、よい地域づくりの助けになっていけたらと思います」(松本さん)



5月

三木市老人クラブ連合会会長 西田博之さん

子どもの登下校の見守りや住みよい地域づくりのリーダーとして長年活動を続けておられます。

👤「子どもたち一人一人が青山の宝物と思っています。そして、どの子どもそれぞれの良さがあって、輝いていると思っています」「縁あって地域に住む私たち。つながりとぬくもりと感謝をこれからも大切にしていきたいです」

(西田さん)

6月

(株) 基陽 さん

「基陽」さんは、入社することが好ましい企業として「ホワイト企業大賞」や「女性のチャレンジ賞」「ひょうごものづくり大賞」など数多くの賞を受賞されています。

👤「働く時間も生きている時間です。心理的安全性の高い働きやすい場づくりをすすめることで、三方良し以上となります。自分・家族・会社・お客様・業界・社会・未来 良しですので 五方良し でしょうか」「これからも中学校等での講演活動など社会貢献をさせて頂きたいと考えております」

(基陽さん)

7月

NPO 法人 そいる さん

三木市で気軽に発達相談等ができる場所としてNPO 法人「そいる」を立ち上げ、障がいのある子やその家族を支える活動をされています。

👤「ご家族が気軽に相談できる場であることを一番に考え、子育てを楽しくできる助けになればと考えています」

「ご家族がお子さんの成長を実感できた時、ご家族が子育てを楽しめているというお話をお聞きした時、などご家族が子育てに不安なく向かえていることを知れた時も本当に嬉しくなります」(そいる さん)

6月

三木高等学校 国際総合科

三木高等学校国際総合科では、身近な問題について解決策を考える「探究学習」に力を入れ、その成果を毎年2月上旬に「グローバル教育発表会」で発表されています。

👤「私たちのグループは、外国人の方々への『無意識の偏見』を取り払い、お互いが暮らしやすい社会を実現する方法を提案しました。『無意識の偏見』によって、共生するのが困難になっている面があり、コミュニケーション不足が原因の一つだと感じています。三木市に在住の外国人の方々にフィールドワークでご協力頂きましたが、お互いの気持ちが伝わったとき、とても温かい気持ちになりました」(生徒さん)

# フィールドワークにご参加を！



## 長島愛生園と渋染一揆資料館を訪ねて

ハンセン病への差別や偏見がもたらした罹患者の苦しみを知り、人の尊厳を守り人権を回復するための運動やたくましく生きてきた人々の思いにふれます。また、「旧らい予防法」などの隔離施策に着目し、社会制度の問題点について学びます。

渋染一揆資料館では、江戸末期の部落差別に抗して立ち上がった人々の行動について学びます。

実施日	令和3(2021)年10月30日(土)
訪問先	国立療養所長島愛生園・渋染一揆資料館
集合場所	三木市文化会館駐車場(中央図書館前)
日程	8:00 三木市文化会館駐車場出発 10:00 国立療養所長島愛生園・歴史館見学 12:00 昼食・散策(おさふねSA) 15:00 岡山市・渋染一揆資料館見学 16:30 資料館出発 18:30 三木市文化会館駐車場着
応募締切	10月15日(金) 正午
参加費	2,000円(昼食代・保険代等)
定員	25名(応募多数の場合、抽選)

※ 新型コロナウイルスの蔓延状況等によって中止となる場合があります。その際は申し込まれた方に連絡いたしますので、ご了承ください。

## こんな本を貸し出しています 申込は三同教まで

### ★「わかな15歳 中学生の瞳に映った3・11」(ミツイパブリッシング)

2011年3月11日 あの日は卒業式だった 福島の中3だった少女が今、語り始める  
「私はあなたにまず、『生きていてくれてありがとう』と伝えたい」

### ★「ある日の入管～外国人収容施設は“生き地獄”～」(扶桑社)

今大きな問題となっている出入国管理施設「入管」 多くの人にその実態を知ってもらいたい  
「私は収容されている人の支援をしているのですが、環境は一言でヒドイです」



#### ★ 三同教からお知らせ ★

- ・人権研修会の講師謝礼等の補助をします。
- ・人権研修会の企画・運営の手助けと講師を紹介します。
- ・研修会資料 人権啓発DVD・図書・上映機材を貸し出します。

三同教ホームページにアクセスしてください！



【問合せ・申込先】  
三木市人権・同和教育協議会  
〒673-0501 三木市志染町吉田 823  
TEL. 82-8388 FAX. 82-8658  
Mail sandoukyo@ns.miki.ed.jp